



アナリティクス(データ分析)支援開始について

2019年10月23日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社(社長:金杉 恭三)は、海外においてアナリティクス(データ分析)の実績を有す日本コンセントリクス株式会社(社長:山崎 眞裕美)のノウハウを活用し、2019年10月より当社代理店を対象にアナリティクス(データ分析)支援を開始しました。

1. 背景

近年、IoTによりモノがインターネットにつながることで顧客データの取得技術が進み、データの活用手法も幅広くなっています。一方で、各種データを活用しお客さまに対して適切な保険商品をご提供することへの期待も高まっています。そんな状況の中、当社は、お客さまの車両情報、契約情報に加え、保険金請求情報・苦情情報・各種照会情報等を保有しながら、総合的なデータ分析ならびにお客さま満足度向上への有効活用を一層進めていく必要があると考えました。

そこで、お客さまニーズやマーケット変化に迅速に対応し、特色あるビジネスモデルを構築するため、当社と日本コンセントリクス株式会社は、当社の持つビッグデータを日本コンセントリクス株式会社のノウハウとを組み合わせ、このたび新たなアナリティクス支援サービスを開始することとしました。

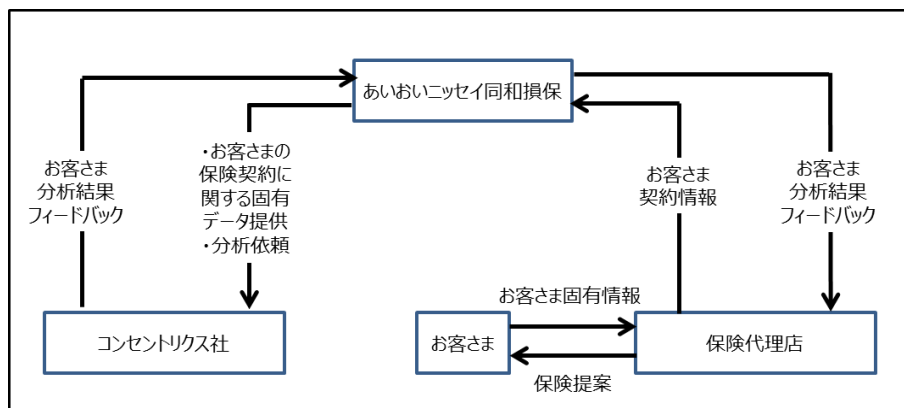
2. 概要

海外で保険会社・カード会社・自動車販売店等でアナリティクス(データ分析)の実績を有す日本コンセントリクス株式会社の各種分析スキル・手法を活用し、当社代理店向けに当社の持つ顧客データを分析し各種提案を行い、お客さまの満足度向上へつなげていきます。

具体的には、各種顧客データの分析を行い、コールセンター機能等を活用することにより、お客さまに最適なタイミングでニーズ・課題に対する実効性ある提案を、効率の良いアプローチ手法で展開するものです。

なお、既に2019年1月より、選定した当社委託代理店(金融機関代理店等)でトライアルを実施しており、分析結果から契約更新時のタイミングや提案内容を導き出せる効果を確認できています。

まずは、自動車保険契約の取扱いの多い金融機関代理店から開始し、徐々に対象を拡大していく予定です。



<日本コンセントリクス株式会社の概要>



会社名	日本コンセントリクス株式会社
本社所在地	東京都江東区亀戸 1-5-7 錦糸町プライムタワー 3F
執行役員社長	山崎 眞裕美
設立	1990年6月
主要業務	カスタマー・ケア及び業種・業界別のビジネス・プロセス・アウトソーシング・サービス

3. 今後の展開

関連部署間で連携しながら体制を強化し、本取組みの推進を進め、さらに他業態が保有するデータとのクロス分析等により、本業支援・更なる保険販売推進等の相乗効果を図る予定です。

当社は、中期経営計画 AD Vision 2021 に掲げる「先進性」を具現化するために、日本コンセントリクス株式会社との連携を深め、従来にはない取組みを推進することで、地域社会や地域企業に貢献していきます。

以上

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDG s（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDG s 目標

